

No.	001	—	2052	事務事業名	職員研修費（メンター制度に関する事務）								公的関与	2			
P L A N	課名	総務課		係名	人事係		電話番号	089-964-4400		メールアドレス	soumka@city.toon.lg.jp						
	事業区分	内部管理事務・その他			事業運営方法	直営		実施計画	非該当	事業期間	年度	～	期間設定なし				
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち			政策項目	5 自立した自治体経営の推進			主要施策	1 自主性・自立性の高い自治体運営の推進						
	事業の目的	新規採用職員の市職員としての成長を促すため。							根拠法令等								
	事業の手段	知識や経験を有した先輩職員をメンターに指名し、個別に支援を行い、職場内で抱える問題の解決に向けたサポートを行います。							掲載計画								
	達成度を測る指標	指標名	計算式又は指標設定理由						単位	令和5年度	令和6年度	令和7年度	最終目標				
		メンターによる面談回数	1ペア当たりの期間中の平均回数						回	目標	3	3	0	3			
									実績	3	3						
									目標								
									実績								
活動内容	①	人事担当でメンターとメンティのペアを選定し、説明会及び顔合わせ会を実施						④									
	②	メンターによる面談を月1回程度、3か月間実施						⑤									
	③																
D O	予算費目	会計	一般会計				費目名	総務				費					
	直接事業費		令和5年度決算		令和6年度決算			令和7年度予算		備考							
		国・県支出金	0千円				0千円			0千円							
		地方債	0千円				0千円			0千円							
		その他特定財源	0千円				0千円			0千円							
		一般財源	0千円				0千円			0千円							
	計(A)	0千円				0千円			0千円								
	人件費(B)	正職員工数・経費	0.010人	63千円	0.010人	64千円	0.000人	0千円									
		臨時職員工数・経費	0.000人	0千円	0.000人	0千円	0.000人	0千円									
	全体事業費(A+B)	63千円				64千円			0千円								
C H E C K · A C T I O N	一次評価者	人事係		総合評価点	A	必要性	4	有効性	3	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持		
	項目	評価項目の説明（一次評価者のコメント）															
	必要性	新規採用職員が職場環境に適用し、市職員として活躍することで住民サービスの向上につながると考えます。															
	有効性	知識やスキルを身に付けるためには、個別のサポートも有効と考えます。特に本事業は、心理的なサポート面が大きく、新規採用職員が職場環境へ早期に適応する上で効果的と考えます。															
	達成度	期間中概ね目標の回数メンタリングできており、実施後の継続的な関係も見られることから一定の効果を上げていると考えます。															
	効率性	職員間での実施であり、直営事業のため、コスト面では非常に効果的と考えます。															
	当面の課題	令和7年度は新規採用者が多く、メンターの選任が困難であったため一時的に中止することになりましたが、入庁後の横の繋がりをつくり、心理面をサポートする上で、一定の効果を発揮していると思われます。安定的に実施するため、メンターとなりうる職員の育成の必要性を感じています。															
	改革計画	メンターの育成をはじめ、安定して事業が進められるよう今度も取組を続けます。															
	二次評価者	総務課長	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	3	今後の方向性	現状維持			
	二次評価での指摘事項	新規採用職員の心理面をサポートしていくことで、早期の職場環境への適応と、人材育成が期待されます。さらに、メンターも含めた人材育成に取り組み、事業を推進してください。															

No.	001	—	3001	事務事業名	広報事業						公的関与	8							
PLAN	課名	総務課		係名	広報広聴・男女共同参画係		電話番号	089-964-4400		メールアドレス	soumka@city.toon.lg.jp								
	事業区分	ソフト事業		事業運営方法	直営		実施計画	該当		事業期間	平成 26 年度	～	期間設定なし						
	総合計画	政策目標	5 みんなでつくる協働・自立のまち			政策項目	4 市民と行政との協働のまちづくりの推進			主要施策	2 広報・広聴活動の充実								
	事業の目的	行政情報を積極的に提供し、住民と行政との情報・意識の共有化を図りながら、多様な住民参画・共同の仕組みを確立するため。						根拠法令等											
	事業の手段	各媒体の利用者層などを見極めながら、広報誌の発行やHP・SNSを配信します。						掲載計画											
	達成度を測る指標	指標名		計算式又は指標設定理由			単位	令和 5 年度	令和 6 年度	令和 7 年度	最終目標								
		市公式ホームページのページビュー数		公式HPに掲載しているページの閲覧数			万件	目標	147	148	150	150							
								実績	175	200									
								目標											
								実績											
DO	活動内容	①	広報とうおんの発行					④	SNS等の運用										
		②	ホームページの更新や管理運営					⑤											
		③	SNS等の運用																
	予算費目	会計	一般会計			費目名	総務				費								
	直接事業費		令和 5 年度決算		令和 6 年度決算		令和 7 年度予算		備考										
		国・県支出金	6 千円		28 千円		28 千円												
		地方債	0 千円		0 千円		0 千円												
		その他特定財源	0 千円		0 千円		0 千円												
		一般財源	11,360 千円		13,116 千円		11,846 千円												
	人件費(B)	計(A)	11,366 千円		13,144 千円		11,874 千円												
		正職員数・経費	1,476 人	9,352 千円	1,799 人	11,582 千円	1,799 人	11,582 千円											
		臨時職員数・経費	0.103 人	216 千円	0.103 人	230 千円	0.103 人	230 千円											
	全体事業費(A+B)		20,934 千円		24,956 千円		23,686 千円												
CHECK・ACTION	一次評価者	広報広聴・男女共同参画係	総合評価点	A	必要性	4	有効性	4	達成度	3	効率性	4	今後の方向性	拡大・充実					
	項目	評価項目の説明 (一次評価者のコメント)																	
	必要性	市民に対して情報を広く伝達する手段として、また市民と行政の共同参画の重要な手段として欠かせない事務です。																	
	有効性	広報誌の発行が月1回であり即時性に欠ける面があるため、これを補うものとしてHP・SNS等を活用しています。																	
	達成度	どのように市民に伝えるかにより、行政への関心を高める達成度も変わるので、今後も努力していきます。																	
	効率性	デザインソフト導入で、コンテンツ制作を内製化したこと、自由度のある紙面レイアウトやコンテンツ作成をできています。LINE配信システムで市民からの道路陥没等の通報など相互の情報発信が可能になっています。																	
	当面の課題	・市民に必要とされる広報誌・インターネットコンテンツを作っていくことが求められます。 ・マニュアル整備を令和6年度複数人材とともに行いましたが、担当者の向き不向きが出やすい業務だと思います。異動があった際に投稿を維持できるかが課題です。 ・特にInstagramの投稿作業時間が増えているので、作業時間の削減が課題です。																	
	改革計画	・市民の意見・要望を調査し、ニーズに沿った広報誌・インターネットコンテンツ作成を目指します。 ・更なるマニュアルの整備で、後任が作業しやすい体制の構築を行います。 ・数年後に1度外部の人材の視点から助言や改善を受け、マンネリ化防止やSNSの最新の動向を把握することが必要だと感じています。																	
	二次評価者	総務課長	総合評価点	A	必要性	3	有効性	4	達成度	4	効率性	4	今後の方向性	方法改善					
	二次評価者の指摘事項	SNSを活用して、リアルタイムに情報発信することで、広報誌では、即時性に欠けていた部分を補完しています。なお、市ホームページは、「市民が使いやすい」「探しやすい」「わかりやすい」という視点が大変重要なと考えており、視覚的な分かりやすさ、検索性、音声読み上げなど対応可能なから順次改善を図ってきたところですが、引き続き、利用者側の視点に立った、さらに信頼されるホームページの運営に努めていく必要があります。																	